



汚濁防止膜とは？

こんにちは。青森港湾事務所マスコットキャラクターの「ウッピー」です！
マニアックな海上工事について、みなさんと一緒に学んでいければと思います。
今回は、港湾・海岸・河川・湖などでの土木工事において発生する汚濁水の拡散を防止し、環境への影響を最小限に抑える「汚濁防止膜」について、見ていきましょう！！

<課題>

護岸の撤去作業に伴い、
濁りが発生！！



<対応>

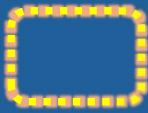
汚濁防止膜を海中に
張り、濁りの拡散を
防止します！！



フェリーふ頭

油川ふ頭（施工場所）

凡例

 : 汚濁防止膜設置範囲
(全長740m)

油川地区で使用する「汚濁防止膜」の断面図(イメージ)

沖側

陸側

【カーテン】

シルトフェンスにより濁りの拡散を防止する。
深さの延長は9 m。

【フロート】

【緩衝バイ】

【アンカーロープ】

陸上からはフロート
部分しか見えないけど、
水中では、こんな構造
だったんだね。

濁り

9 m

濁り

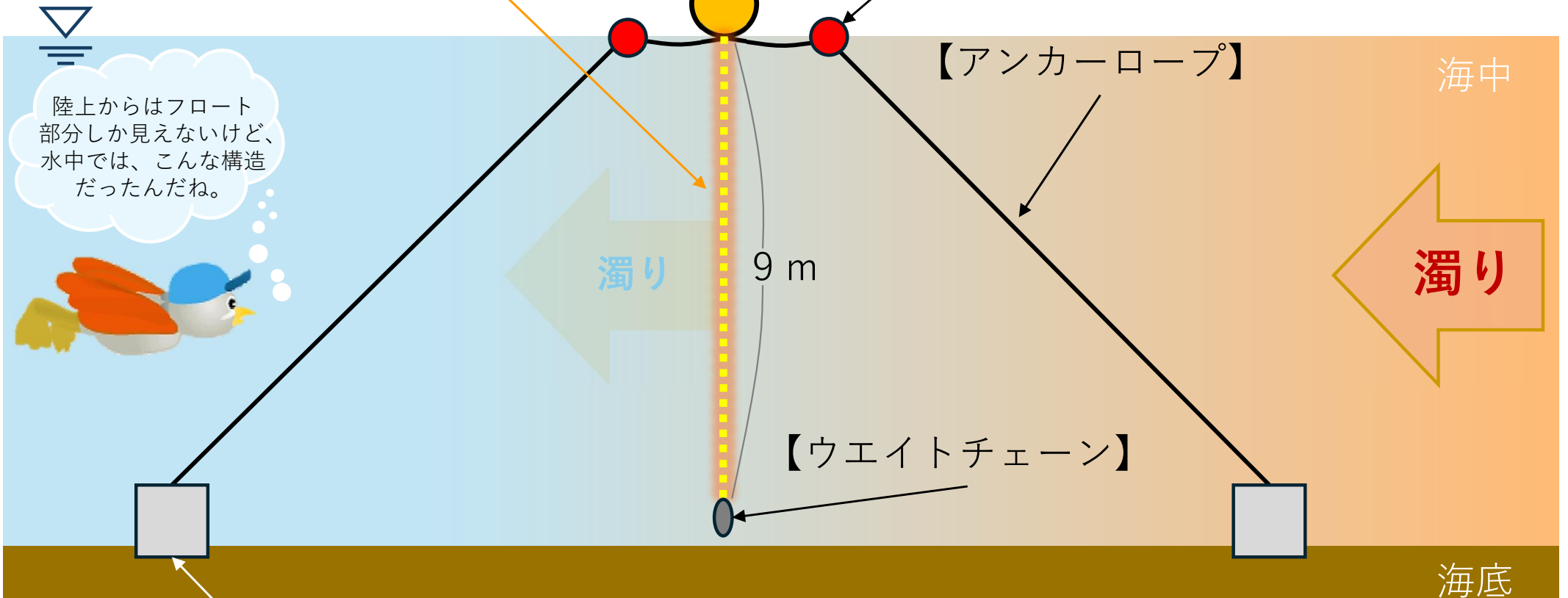
【ウエイトチェーン】

【アンカー（コンクリートブロック）】

カーテンが波浪などにより流されないように固定するための重り

海中

海底



【作業船へ資材の積込】

【トレーラーより資材を搬入】

「アンカー」

「汚濁防止膜」

「汚濁防止膜」

【作業船へ積込完了】

「汚濁防止膜」

「アンカー」

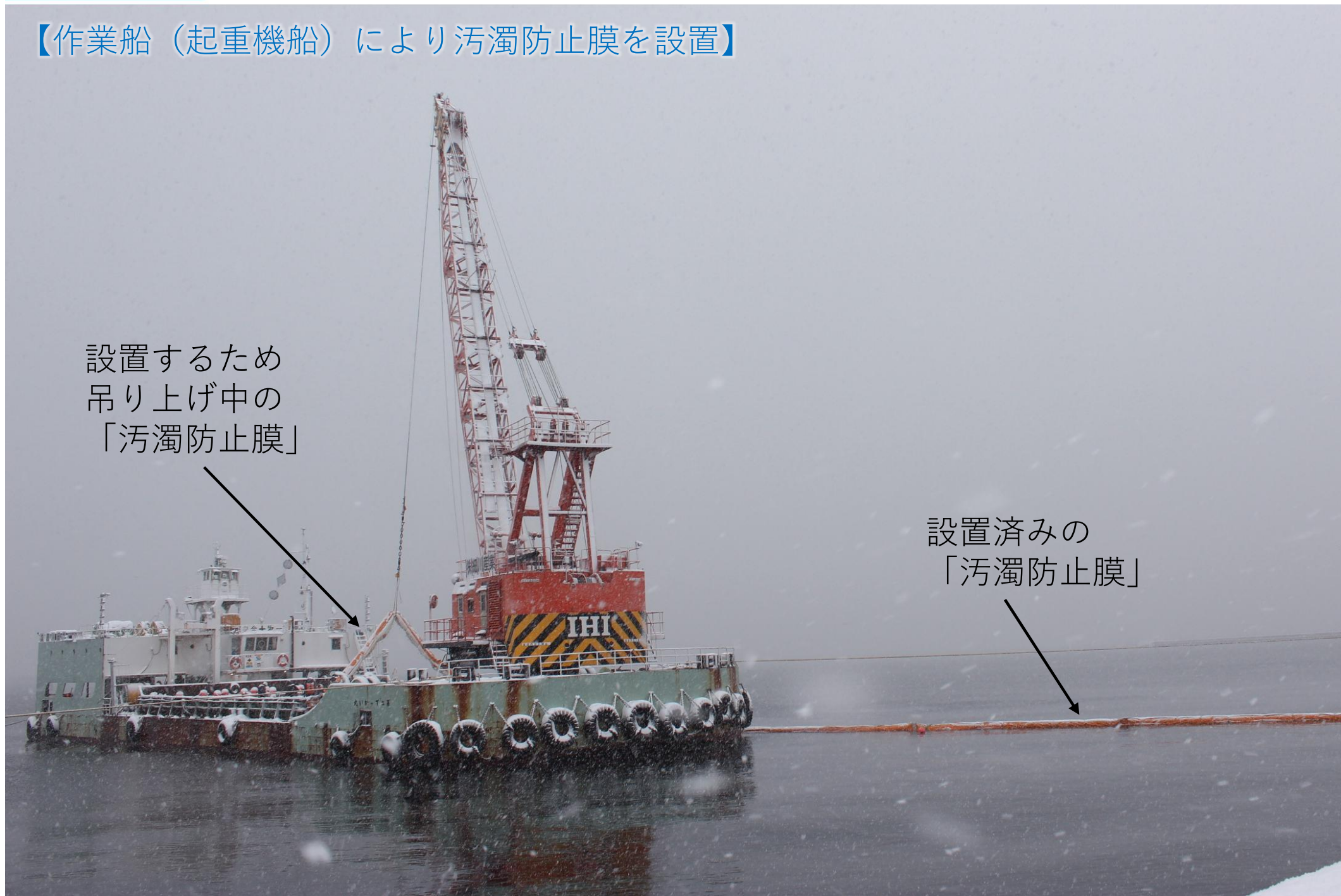
近くで見ると、
大きくて長くて、
重たそうだね。



【作業船（起重機船）により汚濁防止膜を設置】

設置するため
吊り上げ中の
「汚濁防止膜」

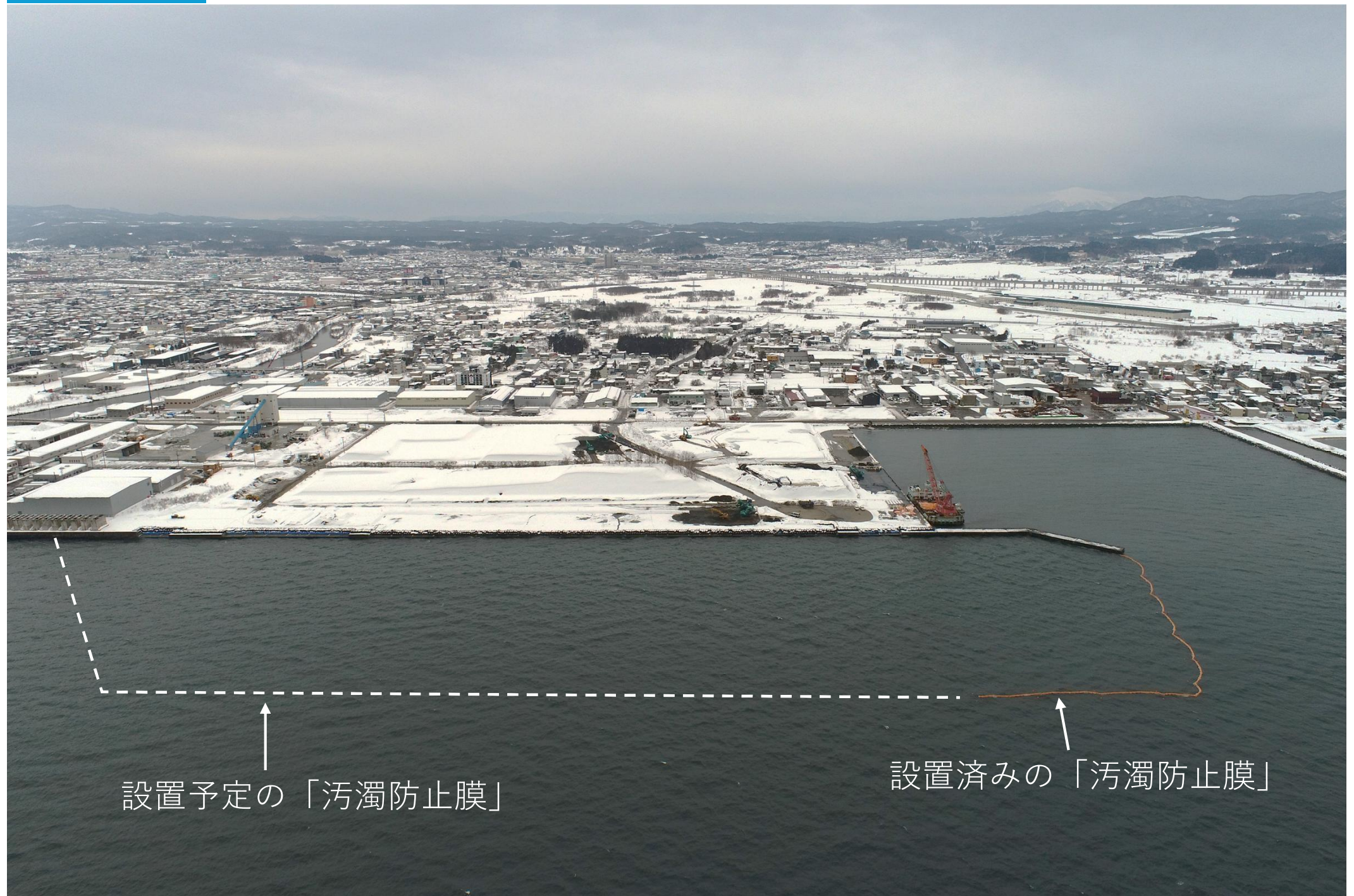
設置済みの
「汚濁防止膜」



【作業船（起重機船）によりアンカーブロックの設置】



「アンカーブロック」





【汚濁防止膜 設置完了】



【汚濁防止膜 設置完了】